

No. A17-01

平成 29年 1月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
何卒、ご高承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

- 実施日 : 平成 29年 2月 6日 (月) ご依頼分より
- 新規実施項目 : 【研究検査】 Y染色体微小欠失 (AZF欠失)
- 受託要項 :

| 項目 コード | 検査項目 (グループコード) | 検体 必要量 | 容器 保存方法 | 検査方法 | 基準値 | 所要 日数 | 実施料 判断料 | 備考 |
|-----------|---|-------------|------------|----------------|-----|----------|------------|-----|
| 7677 | 倫理指针对象 Y染色体微小欠失 (AZF欠失) (7677) | 全血 5.0mL | E-1 冷蔵 | PCR- r SSO法 | なし | 5~10日 | 未収載 | * G |

測定委託先: 保健科学研究所 (* G)

▼ ご依頼時と結果報告に関する注意点

- ① 他項目との重複依頼は避けてください。
- ② 本検査はコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに十分ご注意ください。
- ③ ご依頼時は弊社「遺伝学的検査汎用依頼書」をご利用ください。検査結果は匿名番号にて、ご担当医師宛てに親展扱いの封書でお届け致します。
- ④ 本検査は倫理指针对象の遺伝学的検査となりますので、検査の実施に際しては、医師より被験者に対して検査の目的や方法、限界等について十分説明され、また必要に応じて遺伝カウンセリングを受けたうえで、被験者の自由意志による同意 (インフォームド・コンセント) が得られていることが必要です。

▼ 臨床的意義

男性不妊症の原因の一つとして、Y染色体長腕上に存在する「Azoospermia factor (AZF)」領域の微小欠失が関係していることが知られ、無精子症患者の5～10%にこのAZF領域の欠失が認められるといわれています。

AZF領域は3つの領域 (AZFa、AZFb、AZFc) に分かれており、このうちどれが欠失しても無精子症を呈しますが、その欠失パターンと精巣内精子採取術 (Testicular Sperm Extraction: TESE) による精子回収率の間に関連性のあることが知られています。AZFa、AZFbまたはAZFb+cが欠失している場合、TESEによる精子回収の可能性はありませんが、AZFc単独の欠失の場合、精子形成能が残存し、約50～70%の確率で精子回収できる可能性があります。

本検査は、日本人に適したSTS (Sequence tag site) マーカーを用いて、AZF微小欠失部位を特定します。男性不妊症の原因究明またはTESEの適用等の治療方針を検討するうえで有用です。

▼ 参考文献

高 栄哲, 他: Journal of Mammalian Ova Research 30: 135-144, 2013.